

東京化粧品工業会会報No. 125 (昭和45年4月30日)

より抜粋

(本件については、日本化粧品工業連合会技術委員会色素専門部会において見直しをすることになっています。)

### 化粧品用タール色素の使用自主規制について

標題の件については、技術委員会及びタール色素部会の決定にもとづいて、本年2月17日付書翰によりタール色素の使用状況並にご意見について調査を行なつた結果、下記15品目については、ほとんど使用されておらぬことが判明したので、万一使用している向きは、早急に代替品に切り替えて減くこととし、業界としては、今後一切自主的にこれら色素の使用を取り止めることを、第160回役員会で確認された。

なお、黄色404号(エローAB)については、唯一の油溶性黄色色素であるため、頭髪用油に使用を限定し、他の化粧品には一切使用しないことになつた。

以上、この件については4月14日付社工連名を以つて既に傘下全会員に通知済みである。

#### 記

##### 1. 自主的に使用を取り止める色素

緑色 2号	ライトグリーン S F 黄
赤色 214号	ローダミンBアセテート
" 229号	アルバレッド
橙色 202号の(1)	ジブロムブルオレセインNA
" 202号の(2)	ジブロムフルオレセインK
黄色 202号の(2)	ウラニンK
赤色 502号	ポンソーラR
" 503号	ポンソーラR

赤色 505号	オイルレッド X O
" 506号	ファストレッド S
橙色 402号	オレンジ 1
黄色 403号の(2)	ナフトールエロー S K
" 405号	エロー O B
" 407号	ファストライトエロー 3 G
緑色 402号	ギネアグリーン B

2. 頭髪用油にのみ使用を限定する色素

黄色 404号 エロー A B

## 東京化粧品工業会昭和44年度事業報告書より抜粋

### (14) 化粧品用タール色素に関する事項

バリウム及びジルコニウムレーキの追加に関しては、前年度決定の方針に基き、バリウムレーキ10品目、ジルコニウムレーキ7品目について夫々試験法並に規格値を添えて、厚生省当局に使用を認めるよう要望したが、本年度は、追加制定されることなく、次年度に持ち越された。

また、消費者保護行政に関連し、各種商品の安全性についての関係監督官庁の規制が強化される傾向にあり、厚生省においても食品添加物等の規制検討の方針が一部報道された。

当会では、技術委員会及びタール色素部会並に小委員会において、化粧品用タール色素全体について検討を行ない、今後問題となりそうな色素35品目を

選定し、取り敢えず次表にかかる 16 品目については、使用性が少ないと  
或は他の代替品等に切換えが可能であろうとの理由から業界としては一応自主  
的に使用を取り止めてゆく方針を決定した。

今後化粧品には自主的に使用しない方針の色素

グループ I (医薬品、医薬部外品及び化粧品用)

緑色 2 号 ライトグリーン S F 黄

グループ II (外用医薬品、医薬部外品及び化粧品用)

赤色 214 号 ローダミン B アセテート

" 229 号 アルバレッド

橙色 202 号の(1) ジブロムフルオレセイン N A

" 202 号の(2) ジブロムフルオレセイン K

黄色 202 号の(2) ウラニン K

グループ III (粘膜に使用されることのない医薬品、医薬部外品及び  
化粧品用)

赤色 502 号 ポンソーアルマイト 3 R

" 503 号 ポンソーアルマイト R

" 505 号 オイルレッド X O

" 506 号 フアストレット S

橙色 402 号 オレンジ I

黄色 403 号の(2) ナフトールエロー S K

" 404 号 エロー A B

" 405 号 エロー O B

" 407 号 フアストライトエロー 3 G

緑色 402 号 ギネアグリーン B

この方針に基いて全会員並に関係色素業者の意見を調査した結果、黄色  
04号「エロー A B」については、他の適当な油溶性黄色色素がないため、  
髪用油に限つて使用することとし、他の 15 品目の化粧品への使用は自主的

に取り止めることを最終的に決定して、社工連名をもつて傘下全会員に通知した。（昭和45年4月14日付）

（注）その後諸般の情勢から再検討の結果、「黄色404号」「エローA B」についても全面的に化粧品への使用を取り止めることになり、全会員にその旨改めて通知した。（昭和45年5月9日付）

なお、残りの19品目については、特に使用の希望が強いので、早急に文献調査や毒性試験等を実施して、安全性及び使用の可否を確認することとなり、特に下記12品目については、昭和44年暮から経口急性毒性の試験を行ない、この試験に關しては全品目いずれも問題のないことが明らかとなつたが、更に検討を進めてゆくことになつた。（会報123号参照）

「経口急性毒性試験」実施の12品目

グループⅡのもの（4品目）

橙色204号、黄色205号、青色202号、青色203号

グループⅢのもの（8品目）

赤色401号、赤色404号、赤色405号、赤色501号、  
黄色402号、青色403号、青色404号、紫色401号